

Kayak Dog

[Home](#) ▶ [工房 "KAYAK9"](#) ▶ [Wood Duck 12の製作](#) ▶ (7) 銅線撤去

(7) 銅線撤去

2011年 9月 08日(木曜日) 21:10 | Author: サセックス卿 | [📄](#) [📄](#) [✉](#)

仮接着までハルおよびデッキの形状を保っていたフォームと銅線はもう御用済、バルクヘッドを除いてすべて撤去します。エポキシで接着されているとはいえパネル接合部だけですし、パネルは随分曲げたりひねったりしているので、はたしてチョンづけで保つのだろうか？銅線引き抜いたらバリバリと元へ戻っちゃったらどうしましょ？と少し心配になりますが、そこはエポキシの接着力を信頼して、端から銅線をカットし引き抜いていきます。仮接着では銅線部分にエポキシがつかないように飛ばしあるので、引き抜きは簡単です。

パキッと音を聞くこともなく、ハルもデッキもその形状を保っています。



メインメニュー

[Home](#)

[工房 "KAYAK9"](#)

[Wood Duck 12の製作](#)

[カヤック製作準備](#)

[アトリエ](#)

[情報源](#)

[アマゾン号に乗りたい!](#)

[コンタクト](#)

[プロフィール](#)

[ブログフィード](#)

[Links](#)

引き抜いた銅線の山、そしてよく見ると、直径1.5mmの穴がかなり広がっています。これはファイバーグ
ラッシングの前にパテ埋めした方がいいのかなあ？マニュアルには書いてないけど・・・



最終更新 (2011年 9月 08日(木曜日) 21:20)

© 2009 [KayakDog](#)
All Rights Reserved.

powered by Joomla
free templates by Deposit Poker & Unlimited Web Hosting